

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-101236

(43)公開日 平成5年(1993)4月23日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	FI	技術表示箇所
G 0 7 B 1/00	E	8111-3E		
G 0 7 F 7/08				
9/00	C	7130-3E		
		7130-3E	G 0 7 F 7/ 08	S

審査請求 未請求 請求項の数1(全 4 頁)

(21)出願番号 特願平3-323615

(22)出願日 平成3年(1991)10月3日

(71)出願人 591273557

星 広志

宮城県仙台市青葉区みやぎ台5丁目9番2号

(72)発明者 星 広志

宮城県仙台市青葉区みやぎ台5丁目9番2号

(54)【発明の名称】 待ち時間に応じた景品券発行装置

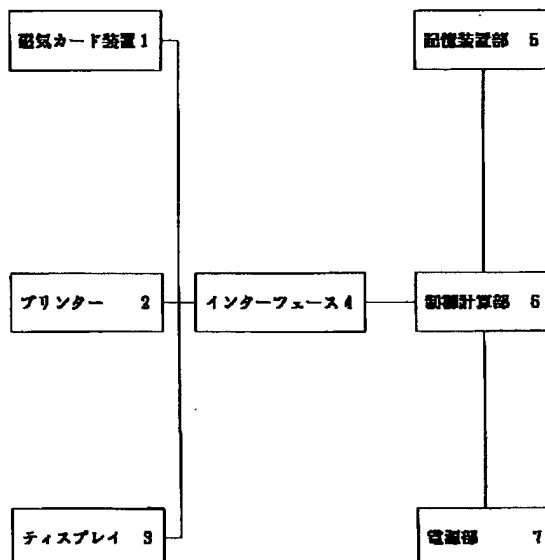
(57)【要約】

待ち時間に応じた景品券発行装置

【目的】 順番待ちをする人に対して順番を知らしめるとともに、磁気カードの受付時刻データをもとに待ち時間を計測しその時間数に応じて景品などのサービス券の発行を目的とした装置

【構成】 磁気カード装置部1、とプリンター部2、ディスプレイ部3、インターフェイス部4、記憶装置部5、制御計算部6、電源部7、から構成する装置

ブロック図



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 磁気カード装置、プリンター、ディスプレイ、インターフェースと制御計算部、記憶装置、電源部から構成される、待ち時間に応じた景品券の発行装置とその方法

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、飲食業などのサービス業において、満席時に来店した来店客に対して磁気カードでの受け付けを行うことによってその待ち時間を知らしめ、その待ち時間に応じて景品券を発行する装置と方法に関するものである

【0002】

【従来の技術】従来、来客の順番を受け付けて番号券などを発行する装置は実用化されていたが、これらはあくまで順番や待ち時間を知らしめるための装置でしかなかった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】来店客の受付を磁気カードを使うことによって、利用者を識別しその待ち時間に応じて景品券などのサービス券を発行することにより来店客に景品法などにおける利益を提供し心理的に楽しく待ってもらうことを目的としている。

【0004】

【課題を解決するための手段】カードを受け付けるとカードに時間が記録される。同時に待ち時間別景品の内容をプリンターから印刷し発行する。再度同じカードを受け付けたときに、待ち時間を計算しその時間に応じた景

2

品サービス券をプリンターより発行する。

【0005】

【作用】本装置がカードを受け付けるとカードに来店時間が記録されると同時に待ち時間別に設定された景品の案内をプリンターから発行する。時間経過後再度カードが本装置に挿入されると、待ち時間を計算し時間数に応じて景品サービス券をプリンターより発行する。

【0006】

【実施例】本装置はファミリーレストランなどに設置し、時間待ちする客にサービスの一部として利用してもらう装置である。

【0007】

【発明の効果】順番を知ると同時に待ち時間数に応じて景品が提供されるため入場をあきらめてしまう客への抑止効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】 ブロック図

【図2】 制御のフローチャート図

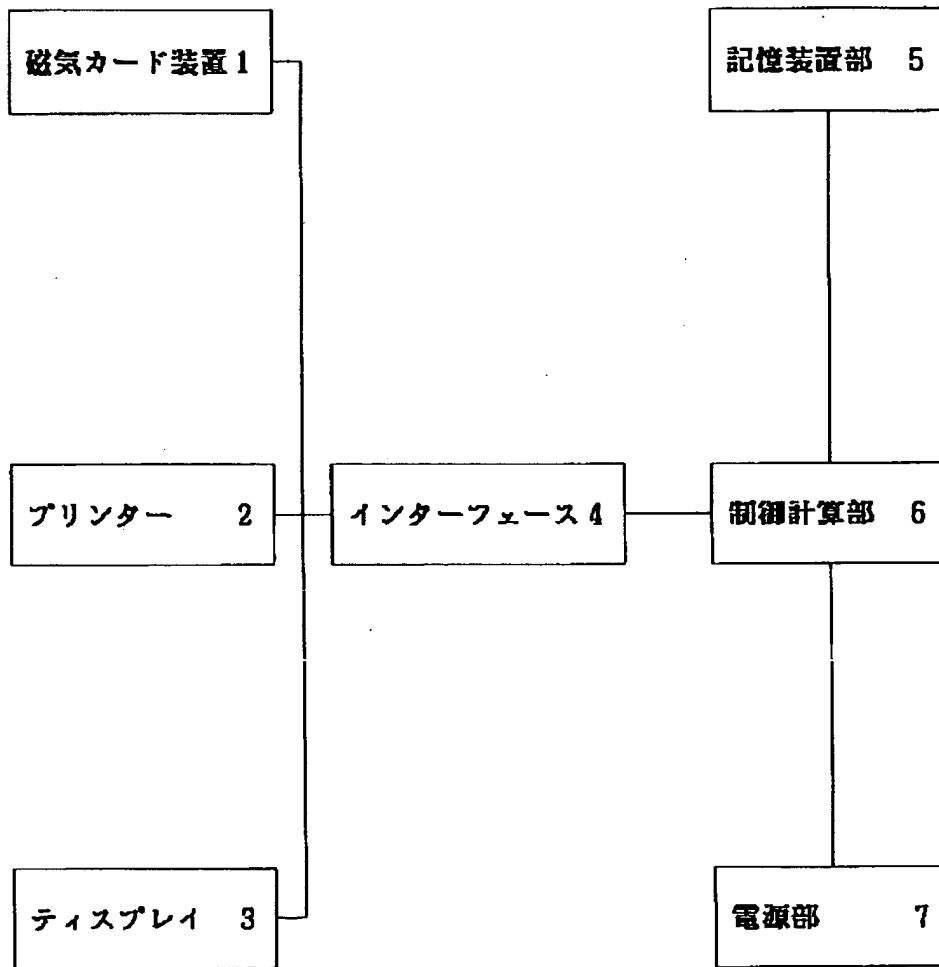
【図3】 装置外観正面図

【符号の説明】

- 1 磁気カード装置
- 2 プリンター
- 3 ディスプレイ
- 4 インターフェース
- 5 記憶装置部
- 6 制御計算部
- 7 電源部

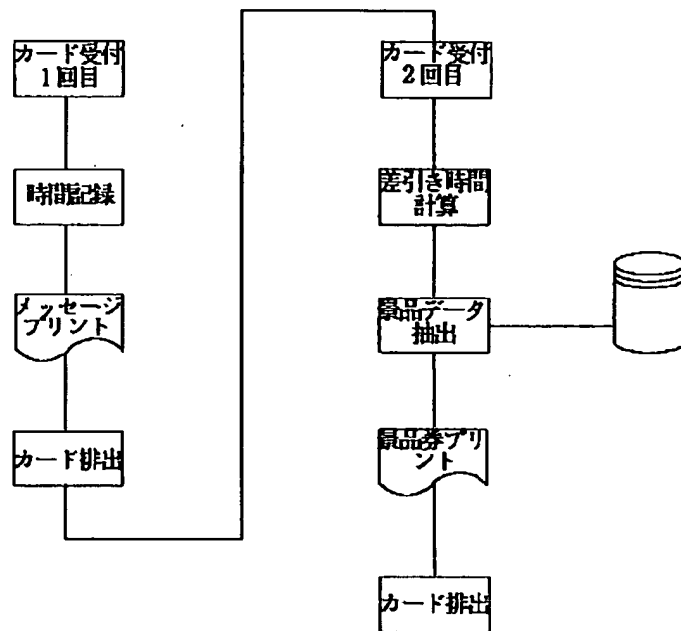
【図1】

ブロック図



【図2】

制御のフローチャート図



【図3】

装置の外観正面図

